

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2374500607		
法人名	株式会社ハルス		
事業所名	グループホームはるすのお家 尾張旭		
所在地	尾張旭市庄中町2丁目4番地8		
自己評価作成日	平成22年11月20日	評価結果市町村受理日	平成23年3月2日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-aichi.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 ケア・ウィル		
所在地	愛知県名古屋市中村区椿町21-2 第2太閤ビルディング9階		
訪問調査日	平成22年12月13日	評価確定日	平成23年1月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・喜怒哀楽があり「人」としての関係性を見守り、我慢してもらう所はしてもらい自由に過してもらう所は自由にと、スローな生活を送っている所。
 ・玄關はいつもオープンになっておりご近所の方・ご家族の方が気軽に訪問できる。
 ・季節の料理、B・B・Qの時などはご近所の方にも料理のおすそ分けをしたり、ご近所の方との付き合いを大切にしている。
 ・日々の生活の中で出来る事は行なって頂き、出来ない点をフォローしながら行うようにしています。また生活の主体は入居者の方である為、職員が全てを行うのではなく皆さんと一緒に行動するようにしています。
 ・「はるすのお家」では、ここを選んで入居された方が一瞬でも「嬉しい!」「楽しい!」といった感情と共に暮らせるように、その方を見守るご家族が「ここを選んで良かった!」と思って頂けるよう日々の介護を実践しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

職員一人ひとりに理念が浸透しており、「その人らしく生活してもらい、支援を目指し入居者の想いを一番に考えたケアに取り組んでいる。入居者との関係、家族との関係、地域との関係が良好であり、ひとえに日頃からの関わりの成果であることがうかがえる。訪問時には入居者の生き生きとした笑顔が見られ、家族アンケート結果からはホームに対する満足度も高く、地域との関係は市を始め近所の方や地域の方の理解、協力関係が築かれ、入居者が今までの暮らしと同じように地域の一員として生活している。職員のチームワークは良く、明るく元気なホームである。また、職員は管理者を慕い、管理者は職員に安心して任せられるなど信頼関係の良さもうかがえる。共に生活する者として、一人ひとりできることは自分で行ってもらい、仲間として入居者同士も助け合い家庭的な雰囲気の中生活している。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見ると、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見ると、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のミーティングに、理念を出席者全員で声に出して読み上げ意識している。 ・理念を玄関に掲げている。 ・リビングに掲示され常に意識する事が出来る。 ・介護理念を常に頭に入れている。 ・毎月のミーティング時に理解し、その理念を実践出来るよう努めている。 ・ミーティング時に理念を復唱し、意識付けを心がけている。 ・日々実践している 	<p>法人の理念をもとにホーム独自の理念をつくりあげている。「共に暮らす仲間として互いを支えあいます。地域に出向き、地域に根づき互いを支えあう関係を目指します」はホーム独自の理念であり、年間目標として「互いに助けあってできることは自分で暮らそう」を掲げている。職員は理念に基づき、どうしたら入居者がその人らしく過ごせるのか、個性を活かしてもらえるかを考えながら日々のケアにあたっている。</p>	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会に入っていて、子供会の廃品回収に段ボールを出したりしている。 ・常に外へ出た時は挨拶をしている。(利用者の方も一緒に) ・ご近所の方が野菜をくださる事もある。 ・地域の行事(お祭り・運動会)に参加する事により地域の繋がりを感じて頂いている。 ・はるすで行事を行う時、季節のご飯をご近所におすそ分けしている。 ・一緒に回覧板を隣に届けている。 ・一緒にスクールガードに出掛けている。 ・定期的に地域のボランティアの人々によるレクリエーションが行われている。 ・時々ご近所の方が訪れて下さる。 	<p>入居者が地域の中でこれまでと変わらない生活を過ごしてもらえるように、そして地域の一員として行事への参加だけではなく、地域の清掃活動や小学生の下校時の見守りなど入居者と一緒に取り組み、地域に暮らす意味を管理者を始め職員全員が考え取り組んでいる。日頃のかかわりを通して、地域の方からも理解を得られるようになり、入居者が一人で外出された時には声をかけてくれたり、温かく見守ってくれる存在になっている。散歩で公園に立ち寄ると子ども達から声をかけてくれるなど良好な関係がうかがえる。</p>	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の代表として管理者が認知症サポーター養成講座を開講している。 ・帰宅出来なくなっている方に声を掛け事務所で対応を行い警察に連絡し、ご家族に迎えに来て頂いた。 ・スクールガードに利用者に参加している。 ・公園の掃除に利用者に参加している。 ・季節を感じる料理・おやつを皆で作った時など、近所の高齢者へ利用者と共に届けている。 ・ゴミネットの保管をしており、可燃ごみの日には準備をし片付けをしている。 ・町内の行事に参加し、町内の人と関わる中で認知症の人への理解を働きかけている。 	/	/
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回開催しその記録を誰でも見られるように、ホームページに掲載している。 ・欠席する家族にも、質問等があれば記入出来るような出欠表を出している。 ・今年は家族交流に力を入れており、行事の参加に繋げる事が出来た。 	<p>市の担当者、民生委員、入居者、家族、管理者、職員をメンバーとして2カ月に1回運営推進会議を開催している。オブザーバーとして他のグループホームの管理者が参加することもある。議事録や外部評価の結果はホームページに掲載されており、誰でも見ることが出来る。会議では家族から活発に意見等があげられており、運営に活かしている。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が代表となり、常に相談出来る関係を築いている。 ・市で開催される講演会等にも、希望者を募り参加している。 ・困難事例に限らず、対応が困難だったり対応方法に助言を要する場合などは気軽に市役所の担当者に相談をする事が出来ている。 	<p>市が主催する認知症サポーター養成講座に参加したり、事業所合同で行う研修会においては、会場の手配や事業所への通知等の協力をいただいた。また、入居者が離設した時には、地域の事業所や市の協力もある等、協力関係が築かれている。</p>	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・施設に入居している事自身が「拘束」と意識し、また勉強会でも取り上げどのよな事が「拘束」なのか学んでいる。 ・身体の拘束だけでなく、スピーチロックもしないよう常に意識している。 ・日中施錠はしていない。(7:00~20:00) ・日中は玄関を始め、勝手口・リビングはきだし窓より職員見守りのもと利用者の方が自由に出入り出来る。 ・お家の中で自分の行きたい時・行きたい所へ自由に行動されています。歩行の不安定な方は一緒に行動している。 ・職員が身体拘束をしないという事を認識している。 ・勉強会で学び、全職員が把握し身体拘束をしないケアを行っている。 	<p>職員の視点ではなく入居者の視点に立って考えることを第一としており、どのようなことが拘束にあたるのか等、勉強会で具体的に取り上げ話し合っている。入居者の行動一つひとつに理由があり、その理由を探り入居者の不快を無くすることが大切であると考え、取り組んでいる。玄関はオープンであり、家族アンケートからも「自由に出入りできるよう配慮されている」との声があがっている。2階の階段前には柵が取り付けられているが、入居者でも開けられるようになっていく。</p>	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会で学び、自分達の行う支援・介護の中で何が虐待なのかも話し合っている。 ・利用者の方が不穏になった時1人の職員だけが長時間対応しストレスをためないよう交代するよう努めている。 ・職員同士声を掛け合い、気になる事がある時は上司に報告・相談をしている。 ・日中はスタッフ数もあるが夜間はスタッフが各フロアに1名ずつになる為、虐待(と思われるような言動)が起こる可能性も高い為2時間おきに夜勤職員が全館の巡回を行うように努めている。 		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会で学んでいるが現在は対象者がいない為、活用出来ていない。 ・理解は薄いと感じる。 ・権利擁護というものを理解していないので上司に聞いたり・本を読み学び支援していきたい。 ・事業所内にある本を借りて学びました。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> 入居前に必ずホーム長から説明があり、納得した上で契約している。 料金改定があった時は、用紙も含めて必ず全家族に知らせている。 入居前に見学・説明を行い、疑問点を尋ね理解・納得した上で契約している。 		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> 玄関の下駄箱の上に何時でも意見や質問が出来るよう用紙と箱が設置してある。 外部者へ表す事は個人情報の事もあるので家族へ承諾を得ている。 面会時に要望等ないか尋ねている。 家族等が意見を言える様な雰囲気作りを心がけている。 ご家族から要望のあった際は管理者に話を持っていくようにしている。 	<p>家族の訪問時には職員が入居者の日常の様子を伝えており、重要なことは必ず管理者が家族に伝えている。家族の来訪は多く、一緒に外出される方もいる。ホームページにはブログが掲載され、入居者の日常の様子が写真で紹介され、多くの家族が見ており訪問時にはコメントをもらったりしている。家族アンケートの結果からも「利用者、家族の要望を第一に考えて柔軟に対応してくれる」と職員の対応の良さが評価されており、良好な関係がうかがえる。</p>	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> 年に2回面談があり、その時に色々聞いて頂いている。 常に管理者は職員に声を掛け、何時でも話せる環境を作って頂き様々な事に反映している。 ミーティング、また日常的にも意見を言いやすいよう声を掛けて下さっている。 問題が出てくる時はその都度適切・迅速に対応して下さっている。 疑問に思った事は素直に聞き、感じた事も率直に話すようにしています。 ホーム長・フロアー長は忙しい中、耳を傾けてくださる。 	<p>月1回フロア会議があり、合同会議と勉強会も月1回実施されている。会議の前には事前に議題を出してもらおう職員に伝えており、会議では職員から積極的に意見が出されている。個別には年に2回面談を行っており、じっくり職員の話聴いている。また、日頃から管理者は職員に声をかけいつでも話することができる環境を大切にしている。</p>	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 常にホーム長に話せる関係性があり、また色々な研修や他施設への体験希望も聞き入れて積極的に学びたい気持ちを支えてくれている。 代表者と直接会った時、困った事などないか尋ねて下さる。 行って下さっている。 年2回おこなわれている面談などで職員の意見・気持ちを汲み上げて下さっている。 職場は本当に楽しく向上心を持って働け、自分が少しでも役に立っていると思うと嬉しく思う。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な勉強会・研修の参加を呼び掛けており、出席したい人には積極的に研修に行ける状態を作っている。 ・希望者は研修・講習会に参加させて頂ける。 ・新人職員をフォローする体制を作っている。 ・取り組んでいる。 ・講習会に1度参加させて頂き、新鮮で貴重な経験でした。学ぶ機会をもっと欲しい。 		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他GHとの交流もあり、いも掘りに誘って頂いたり、ボランティアの方が見えた時は誘ったり、B・B・Qの時も声を掛けたりしている。 ・職員が希望すれば管理者から他施設への体験を取り次いで下さっている。 ・愛知県認知症グループホーム連絡協議会が開催する研修に参加させて頂いている。 ・季節行事を通じて他の事業所との交流を図っている。 ・勉強会など取り組みを行っている。 ・ご利用者が行方不明になった時近隣の施設の方をはじめ色々な方にお世話になったので普段からの交流は大切だと思った。 		
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先ず関係性を作るにあたり、どのように名前を呼ぶのが良いか本人に尋ねている。 ・ホーム長が入所の前での面談時に必ず困っている事・要望を尋ね、入所される前に職員に困っている事など伝えて下さっています。 ・事前に本人に納得して頂けるよう声を掛けてから行うようにしている。 ・新しい生活になじめるよう、本人の声を聞く努力を怠らない。 ・困っている事、不安な事、本人の声に耳を傾け少しでも安心して頂けるよう行っています。 ・安心を確保するための関係作りにも努めています。 ・ご利用者から不安の訴え・要望がある時は、先輩スタッフ・ホーム長に助けを借りながら、より安心して暮らして頂けるよう努めている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常にホーム長が代表となり家族との関係性を築いてもらい、いつでも相談に乗れる状態に努めている。 ・主に管理者がご家族の話を聞き、ご家族が安心・納得されるまで何度も話す機会を設けている。 ・電話での相談にも、対応出来ている。 ・家族が困っている事を話しやすいよう、雰囲気作りを心がけている。 ・耳を傾けながら、関係作りに努めている。 ・ご家族から直接聞く機会はないが、ミーティング・連絡ノートなどで伝わった時はご利用者の意思を確認しながら関わっています。 		
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前の面談(本人・ご家族共に)等より、情報収集し入居プランを立て更に必要とする支援を見極めている。(1ヶ月後に見直し施行) ・本人・ご家族と話す機会を設け、必要としている支援を見極めプランを立てている。 ・職員やホーム長との間の情報がしっかりと共有されているため、対応出来ている。 ・アセスメントをよく読んでその人らしい支援を行っている。 ・訪問看護・訪問マッサージなど、ご家族・ご利用者に安心して利用して頂けるようにしています。 		
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば一方的に食事を提供するのではなく、食材を利用者と選択したり、料理方法を利用者の方に教えてもらっている。 ・出来る事・得意な事は見守り、本人に行って頂いている。気分の向かない時は無理強いしない。 ・ご利用者同士での話し合いや一緒に何かを行う事がある時は傍での見守りや、コミュニケーションの一方化にならないよう努めている。 ・一般的な暮らしが出来るように支援しています。 ・暮らしを共にしているという実感を感じながら日々関係を築いている。 ・縦の関係ではなく、家族のようにと接している。 ・一緒に家事をし、また利用者に教えてもらう事も多くある。 ・利用者の出来ない事は手伝い、出来る事は一緒に手伝い出来るようにしている。 ・常に「お手伝いさせて頂いている」と念頭におき敬いながら関わる努力をしている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者・ご家族がより良い関係を築いていける為の支援に努めている。 ・共に暮らす者としてサービスを提供している。 ・面会にみえた時ゆっくりして頂き、笑顔で挨拶している。 ・家族と本人の関係を大切に本人の新しい生活を支援しています。 ・常に本人と家族の絆を尊重し支えられるよう取り組んでいます。 ・どのご家族も週に1度位、面会に来て下さるので、その時に現状を伝え要望等尋ねている。 ・家族から話を聞く事もしている。また行事がある時(特に遠出の外出)など、家族も一緒に参加して頂けるよう呼び掛け共に楽しい時間を過ごしてもらったりと互いに支え合っていく関係を築いている 		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも自由に面会に来て頂けるようにしている。 ・馴染みの場所へは本人や家族から伺い、行ける範囲であれば計画して外出する事もある。行けない所の時はその馴染みの場所の話をしている。 ・ご家族・友人が面会にきやすいよう、印象が悪くならないよう努めている。 ・声を掛け話をする事があるが傾聴のみになっている。 ・本人と話をする中で、馴染みの場所など常に会話に出すようにしている。 ・地元から離れてしまった方に、どのような支援が出来るかを考えている。 ・要望があればその場所に行くようにしている。 ・馴染みのひと、大切にしてみえた関係の支援をしている。 	<p>入居当初に「家に帰りたい」と希望され、本人の想いをくみとり、毎日家まで職員が付き添ったこともあるなど、入居者の想いを一番に考えて柔軟に対応している。日常的に利用しているスーパーや喫茶店、外食先のお店等は馴染みの関係になっており、理解や協力を得ている。入居者から要望が出た場合は個別に対応することが多く、行きたい時に行ける環境に努めている。</p>	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人を好む利用者もいれば皆と一緒に好む利用者もいる為、個々に合わせた関わりを職員が把握して支援に努めている。 ・共同生活の場であり、主体は利用者さんという事を常に意識している。 ・他の方が行った事について本人がお礼を伝えられるよう声を掛けている。 ・利用者同士が関わりあえるような場を持てるように支援している。 ・会話の間に入った時、他の利用者に話を振って会話を広げるよう努めている。 ・利用者同士が共に助け合いの支援を行っている。 ・誰かが食器を拭いている時、他の方がそっと近づき手伝ってみえる事がある。 ・何かにつけ気の合わない方同士の接触には十分注意している。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・退居後も家族から相談をいつでも受け入れている。また別の所に移った時は利用者の方と一緒に面会に行ったりしている。 ・退所されてもいつでも相談出来る事を伝えている。他施設に行かれる時は情報を提供している。 ・退所されても電話があったりするので、関係は続いていると思う。 ・そのような場に関わる機会がなかったがその場にあった対応が出来るように取り組みたい。 ・施設を移ったり入院された時は、見舞・面会を通し相談や支援に努めている。 ・主にホーム長が行ってみえる。 	/	
23	(9)	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・想い・願いを表現しにくい利用者の方にはどんな事で喜び、どんな思いをしているか常に耳を傾け時には直接本人に尋ねてその都度希望する事をプランにあげている。 ・常に困っている事がないか、どうしたいのか尋ねたりしている。意思疎通が困難な方については、ご家族の意見を聞いたりし、職員同士意見を出し合っている。 ・日々精神状態や暮らしぶりを記録に残している。これから出てくるであろう困難にも対応出来る姿勢で努めている。 ・ミーティングを行い、その方の思いを知れるようにしている。 ・本人が何を望んでいるかを把握する事に努めている。 ・なるべく本人の希望や、意向に沿うようにしている。 ・ミーティングで話し合い、その人らしい暮らしの方向へと努力している。 ・ご利用者に対し親切・丁寧を心にして常に相手の思い、立場を理解しながら支援できるよう努めている。 	<p>その人らしく生活してもらうには、一人ひとりをよく知ることが大切であり、その人の歴史や感情、性格等を理解するよう職員は努力している。常に入居者本人の想いを大事にし、本人の「今」の想いを実現できるよう、気づきや把握した情報は記録に残し、職員間で共有し一人ひとりの想いに添った「その人らしい生活」の支援に活かしている。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前に家族ヘンター方式を渡し記入できる所は記入して頂き、入居前の情報を収集している。 ・入居後からは家族からの話だったり、支援していく中で有する力を把握している。 ・入居の際に尋ねた情報を職員が把握できるよう、いつでも見られるファイルに保存されている。 ・ご利用者の生活歴は随時把握出来るように管理されている。 ・毎日の流れを把握する事に力が入り利用者の生活歴・過去の事項を把握する事が不十分であった。 ・本人から聞いたり、わからない場合は介護記録を見て把握出来るよう努めている。 ・アセスメント・モニタリングを行いミーティングで話し合いプライバシーに配慮しつつ日々の中でこれまでの暮らしを捉えていく積み重ねにつとめている。 ・ご利用者の習慣や実行しようとする気持ちをサポートする事につとめている。 		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々にアセスメントがしてあり情報を元に1日の過ごし方や、今ある状況の把握が出来るシートがある。(個人カルテにはさんである) ・出来ないと思っていた事が出来た時等介護記録に残し現状の把握に努めている。 ・職員全員が把握している。 ・本人に体調を尋ね、記録に残している。 ・1人1人の心身状態を把握すると同時に職員同士の情報交換を行っている。 ・職員同士情報交換を行い、その人の1日の過ごし方・何が出来て何が出来ないのか把握に努めている。 ・利用者を総合的に見つめる目を養いながら本人の出来る力で自分らしく家事をして頂いている。 ・出勤時に利用者の前日からの様子・バイタル値を引き継ぎ、その方に合った過ごし方を支援している。日よっての状態は必ず記録に残している。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本3カ月毎のモニタリングではあるが、身体状況や願いが大幅に変わった時はその都度プランを再立案し、評価も目標によって期日を1カ月だったり2週間だったり変えている。 ・3カ月に1度話し合い介護計画を作成している。変化に合った時はその都度話し合い計画を見直している。ご家族・本人は参加していないがご家族には要望を尋ね確認して頂いている。 ・日々様子やあり方を職員が情報を共有しながら現状に合った計画を作成している。 ・アセスメント・モニタリングを記入する機会があり、その内容についてはミーティングで話し合っている。 ・定期的にモニタリングを繰り返しながら課題とケアの在り方を話し合っ、介護計画に反映している。 ・ミーティングでケアの在り方について、気づきや意見、アイデアを出し合い話し合っている。 	<p>誰のための何のための介護計画なのかを職員が理解できるように日頃から話をしており、入居者がホームでの生活を楽しくもらえるよう入居者の希望をしっかり取り入れ、生活の質を重視した計画を作成している。管理者を始め職員が入居者一人ひとりをよく知り、把握するために毎月、計画に対して実際の状況はどうか評価をして確認している。このことにより、入居者の状況に即した介護計画となっている。介護記録においても、個々の1日の生活の流れに基づき、目標や支援内容が分かるようになっており、職員もその都度確認することができ、入居者のその時の行動や言葉、表情などが記載されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の介護記録用紙の左1/3のところに、個々の1日の流れ、目標・支援等が時間毎に記入されておりその都度確認していけるようにしてある。 ・個々の介護記録に残し、情報の共有を図っている。 ・ケアプランの実践や結果に対して職員での話し合いを行っている。 ・日々行った支援を個々の介護記録に残している。 ・何時にどのように過ごされたか、また言葉や行動、表情を記入している。 ・本人を身近で支え、事実のケアの気づきを具体的に記入している。 ・定期的にミーティングを行い日々変化しているご利用者を把握し職員同士で意見交換、計画作成担当者のもとに介護計画を見直している。 		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ訪問看護に入って頂く等している。 ・細やかな希望を聞き入れ、1人1人から出てくるニーズに対応出来る関係に努めている。 ・サービスの多機能化に取り組む事が出来ていない。 ・本人・家族の状況の変化に応じ訪問看護の利用など柔軟なサービスを行う事に取り組んでいる。 ・マニュアルに縛られず臨機応変に対応し取り組んでいる。 ・単一の介護保険サービスだけにとどまらずその場・その時のニーズに応じて柔軟な支援を臨機応変に展開していくことで多機能化に取り組んでいる。 ・認定の申請・病院受診など代理で行っている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近くのスーパーで買い物したり、美容院へ出掛けたりしている。車いすの利用者が出掛けたりすると飲食店ではドアを開けてくれたりと助けてもらったりしている。お店の方の協力があり支払いも行える。 ・行方不明者が出た時、警察・消防をはじめ、タクシー会社・他施設の方も協力して下さっている。 ・地域での活動に参加(早朝のゴミ拾い)したり、毎日の食材をこの地域で調達する事を行っている。 ・本人が心身の力を発揮しながらスクールガードに出掛けるなどして安全で豊かな暮らしを楽しんでいる。 ・ボランティアの方々アルバム作りやフラダンスを披露して下さり皆さん楽しい時間を過ごされている 		
30	(11)	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時にかかりつけ医、協力医を選択して頂いている。馴染みの医師にかかったり状態に応じ往診に変更したり支援している。 ・ご家族の協力を得て馴染みの病院にて受診されている方もみえるが、困難になった時は協力医療機関に代わる事が出来る事を伝え同意してから変わっている。訪問歯科・マッサージもあり受診を希望される方は受けている。 	<p>ホームの協力医による訪問診療が週に1回あるが、入居前からのかかりつけ医にも受診できるよう支援している。通院は原則家族にお願いしており、最近の様子を受診表に記入して情報を医師に伝えている。歯科やマッサージの訪問もあり希望者が受けている。1日2回体温、脈、血圧を測り健康管理に努めている。</p>	
31		<p>看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常に情報を提供し合い、必要な事は協力しあい支援している。 ・変化のあった時は伝え、指示を仰いでいる。必要であれば受診している。 ・職員全員が同じ対応が出来るよう申し送りの徹底がなされている。 ・皮膚の状態や排泄状況・水分摂取量等異常があった場合や気になった時すぐに報告・相談している。 ・日常生活の中でバイタル等、情報を看護職に相談し適切な処置が行えるようにしている。 ・普段の健康管理や観察の視点など日ごろから介護職・看護職の関係を密にしなが情報を共有し、連携した支援を行っている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時に家族には何かあればすぐに連絡してもらえるよう伝え定期的に面会に行く。 ・病院のケースワーカーにも入院した事を伝えている。 ・入院時ご家族に了承を得て病院へ本人に関する情報を提供している。 ・ホーム長が行っている。 		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・その時その時で毎回対応はしているが紙面としては表していないためある程度の決まっている事や方針を紙面に上げて理解してもらい共に共有する必要がある。 ・ご家族と話し合いがかりつけ医の協力を得て出来る事を話し合い職員全体で支援に取り組んでいる。 ・ホーム長から職員全体に対してミーティング等話し合いの場の方針の共有と支援方法を伺っている。 ・かかりつけ医等ケア関係者と意向を確認しながら対応・方針の共有を図り、管理者は常に意識し家族や医療関係者等と連携を図りながらチームで支援している。 ・重度化されたご利用者は職員全員がより目の届きやすい場所で休んで頂き、声掛けを心がけたり可能な限りご希望の飲食を提供している。また訪問看護の方にも協力して頂き安心・愛情を感じて過ごして頂けるよう努めている 	<p>入居時に重度化や終末期についての話し合いを行なっている。また、状況変化に応じて本人や家族の意向を確認している。重度化された時には、家族や医師、看護師の協力を得ながら支援している。春にホームで看取りを経験しており、職員は対応や方針を会議で話し合い、医師や家族に状態を常に報告、確認することで本人の希望に沿った最期を迎えることができた。経験を通して医師や家族の協力があったからこそ実現することだと痛感しつつ、今後もホームとして最大限できる対応を行なっていきたいと考えている。</p>	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれにマニュアルが各フロアに置いてある。 ・市開催の救急講座(AED)にも参加している。 ・吸引器の使用について指導がある。 		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回早朝・夜・日中に避難訓練を行っている。 ・災害発生時用に水や食料、オムツ、毛布等を準備してある。 	<p>年に4回(春・夏・秋・冬)入居者と一緒に避難訓練を実施している。入居者個々に緊急連絡先や使用薬、認知症の特有な行動などを書いた防災カードを作成し、災害時には首から下げるようになっている。水や食料など3日分用意され、簡易トイレや毛布などの備品も保管している。</p>	<p>避難訓練を定期的に行い、実施後の反省会で改善点を明らかにし、次の訓練に繋げている。避難訓練を実施するにあたり、事前に消防署や近所に通知しているので、当日は消防署員の立会いや、地域住民の協力が得られるような体制を築かれることを期待したい。</p>

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・馴れ合いすぎないように心がけている。 ・トイレなどの声掛けも耳元で行い、周りに聞こえないよう気を付けている。 ・居室にて着替えを行う時はカーテンを閉め外から見えないようにしている。 ・プライバシーを損ねない言葉掛けを常に心がけ、一人一人と接している。 	管理者は「最後まで人としていろいろな権利を奪わない、その人にとって何が大切かを考え、動機付けをきちんと行うこと」を職員に伝えている。職員は日々の関わりの中で入居者の誇りやプライバシーを損ねないように心がけている。引き継ぎをする時には、入居者から少し離れた場所で行い、呼び名にも気を付けている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・常に選択出来るような声掛けを意識している。 ・二者択一にする等、出来る限り本人に選んで頂けるよう努めている。 ・必ず声を掛けてから納得して頂いたうえで行うよう努めている。 ・キョロキョロしている時声を掛けると「しょうと思っただけけど…」 ・「したくて」とおっしゃた際再度声をかけ見守り一緒にいたりしている。 		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしても職員の都合で1日が終わる事が多いのが現状。そのため朝の申し送りの時に1日の予定をある程度立てて個々の希望を支援できるよう意識するように支援している。 ・個々のペースで生活して見える方もいる。 ・散歩等希望されてもすぐに対応出来ない事もあるがその後出掛けられるように努めている。 ・声を掛け希望を聞いたり、顔色や表情を見ながら思いを汲み取るよう努めている。 ・「行きませんか？」と声をかけた時「今これやっつとで」と言われる事もある為再度声を掛けたり「それが終わったら一緒にどうですか？」と誘い方に工夫している。 ・今何がしたいか聞いている。 ・望んでいるペースに合わせた暮らしの支援を行えるよう努めている。 ・毎月目標を設定しご利用者のペースを考えながら健康維持・幸福感を刺激するために1日の過ごし方を支援している。 		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・衣類は一緒に決めたり化粧をされる方には、声を掛けたりしている。外出して美容院に行かれる方もいる。 ・散髪・毛染めは希望によって行っている。耳掃除・目脂・爪は常にきにかけている。 ・服から下着が出ないように注意している。 ・一人一人の個性や希望・生活歴等に応じて髪型や服装等の身だしなみやおしゃれを個別に支援している。 ・希望によりマニキュアを塗っている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物から利用者と一緒にいき、メニューを考えている。材料を切ったり、フライパンで炒めたりと、時には味見してもらい共に行っている。 ・片付けも一緒に行っている。一つの事を一緒に行うことにより、食事中の会話が楽しめることがある。 ・職員が個々の力量や得意なことを把握しているので皆さん楽しんで行われている。 ・嫌いな食べ物・苦手な食べ物・食べにくいものが重ならないよう考慮している。 ・火傷・切り傷等に注意し、一緒に調理を行っている。 	<p>職員は「何にしようか？」と毎日入居者と相談しながら献立を決め、買い物も一緒に行っている。訪問時には、調理の準備や片付けなど職員の声かけで、テキパキと入居者が行なっている姿が見られた。回転寿司やラーメン屋などの外食や、駐車場でバーベキュー大会なども楽しみになっている。梅干やらっきょうも1年分一緒に作っており恒例になっている。</p>	
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・疾患・年齢・季節等を考えた上で、個々の食事の提供、水分量を考えて支援している。 ・時にはかかりつけ医にも相談して指示を仰ぐこともある。 ・栄養が偏らないようにメニューを決める時気をつけている。水分については声を掛けないと召し上がらない方もみえるるので声を掛け召し上がって頂いている。 ・嫌いな食べ物に対しては代替食を提供している。 ・同じメニューが続かないよう注意している。 ・水分量は記入表があり全ての職員が把握し、個々に合った量を摂取して頂けるよう支援している。 ・知識や意識を持ち一日を通して必要な食事・水分が摂取できるよう支援している。 ・糖尿病の方の食事・おやつ量は看護師・ホーム長に指示を仰ぎ提供している。また誤嚥を起こさないよう注意している。 		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・義歯のない方も歯茎を歯ブラシで洗い保清に努めている。 ・利用者・家族の希望があれば訪問で衛生士に口腔ケアをしてもらっている。 ・毎食後本人の力を借り口腔ケアを行っている。自立している方については、確認の声を掛けている。 ・チェック表にて行っていない方を確認し職員同士声を掛け支援している。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度、排泄パターンを理解したうえで個々に必要な支援を行っている。 ・時間を見ながらトイレ誘導を行ったり、トイレへの声掛けを行っている。 ・排泄を出来るだけトイレで行えるよう声を掛ける事を心がけている。 ・排泄の無かった時は、次のトイレ誘導を早目に行っている。 ・トイレに座って頂くときは「トイレ」という事を伝えている。 	排泄チェック表をしっかりと付けることで入居者一人ひとりの排泄パターンを把握し、自立にむけた支援になっている。その人に合わせた誘導や声かけでトイレでの排泄に繋げている。便座近くに鈴を置き、排泄後に大きな声で職員を呼ぶのではなく、鳴らして知らせなどの工夫がされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・食事にも気をつけているが日常生活の中で活動・水分摂取を考え、また個々に必要のある利用者にはプランを立てて支援している。 		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日入浴できるよう準備している。 ・体調や血圧等のバイタルに問題なければご利用者さんの希望に沿って支援している。(毎日入らない方もいる) ・時間は本人に尋ねている。 ・本人が入浴を希望されない時は清拭・足浴を行っている。 ・介助が必要な方の時は職員の都合で行う事もある。 	毎日午後に入浴できるが、入居者は週に3~4回入浴している。お風呂はゆっくり入ってもらうことが一番の寛ぎと考え、一人で入浴する方には脱衣場から時々声をかけて確認を行なっている。柚子湯や苧蒲湯など季節感も大切にしている。入浴ができない場合は清拭や足浴を行なっている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間眠れなかった人には午前中眠るよう促し、午後からは散歩に出掛けたりして体を動かし夜間の良眠に繋げていくよう支援している。 ・体調が思わしくなかったり、横になりたい方は休んで頂いている。 ・眠る事だけに注目せず本人の生活習慣や活動状況・ストレスの状態を総合的に把握し安心して気持ちよく眠れるように支援している。 		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・各階に個人の内服の説明書をファイルして、いつでも確認ができるようにしている。 ・個人の薬箱の中に薬手帳が入れてあり、処方された薬名が貼ってある。 ・内服ミスが起こらないようセットする・確認するを複数の職員で行っている。また内服に変更があり、変化のあった時は記録に残している。 ・内服が変更した時は、連絡ノートに記載され副作用などの注意を職員全体に告知される。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り持っている力を出して頂き、生活のあらゆるところで活動して頂いている。 ・当日の職員で散歩や喫茶・外食の予定を立て利用者の体調をみながら話し合い・支援している。 ・毎月行事を決め、楽しめるよう努めている。 ・利用者が自宅に居る時と同様に嗜好品を楽しめるよう、ミーティングで話し合い支援に繋げている。 		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・全て希望に添えないが必ず外へ出かけるよう、散歩・喫茶・買い物に出掛けている。 ・年に1回遠足、冬から春にはいちご狩りと遠出し家族の参加も呼び掛けている。 ・ご家族の協力を得て、お墓参りに出掛けられる方もみえる。 ・日常的に外出できるような個別の支援を工夫し、重度の利用者の方も外出が困難と決めつけずに本人が戸外で気持ちよく、生き生きと過ごせるよう工夫しつつ家族や地域の人々と協力しながら出掛けられるように支援している。 	<p>天気の良い日は毎日散歩に出かけ、1日に数回散歩する方もいる。車椅子の方も一緒に喫茶店や買い物等に出かけたり、紅葉を楽しみに行ったりしている。10月に家族参加で名古屋港水族館に行き楽しい時を過ごした。家族アンケートにも「戸外への働きかけが多い」と評価を得ている。</p>	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者によっては個人で持っている方もみえる。 ・職員で管理していても外出(買い物・外食)した時は利用者に支払いをお願いしている。 		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・全員ではないが季節の折にはがきをだしている。 ・利用者の希望がある時は電話をかけたっている。 ・家族から電話がかかってきた時、話をして頂く事もある。 		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関先には季節の花のプランターを設置したり野菜のプランターもあり季節を感じるように工夫している。 ・天気の良い日はカーテンを開け、しっかり陽を浴びれるように声を掛けている。 ・花を生けたり、季節の物を飾ったりを入居者の方と一緒にやっている。また掃除も一緒に行ったり自ら行われる方もいる。 ・皆が共有する廊下やリビング等は暗すぎず、明るすぎないよう自然の明るさも大切にしながら気をつけている。 ・リビング内の空気の入替え、入床時の居室の温度に気をつけている。 ・季節の行事(ひな祭り・七夕・正月・クリスマス等)の飾りを玄関先やリビング・居室に飾っている。 	<p>リビングには大きな掃き出し窓があり、日当たりが良く外を眺めて季節を感じることができる。居場所の点在ができるようにソファや椅子を色々な場所に置いている。その一角に畳のスペースがあり、日向ぼっこをしながらおしゃべりができる。また、ベッドも置いてありいつでも休むことができる。季節の行事に合わせて、皆で飾り付けしたクリスマスツリーや折り紙で作ったサンタクロースなどを飾ることで、季節感を演出している。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・収納性のある畳が置いてあり仲良しの利用者の方々がそこに座って談笑されたり、ソファーもありそれぞれが過ごしたいと思うスペースがある。 ・リビングだけでなく、廊下の奥にもソファーが置かれ、好きな所で過ごせるようになっている。 ・1人になれるちょっとしたスペースや、2・3人で過ごせるような家具の配置等の工夫がしてある。 		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時にご利用者が一番馴染みのある家具や写真を持参して頂き、各個人の部屋作りをしている。 ・家族の写真や思い出の品で個人の大切な空間になっている。 	居室入口に手作りの暖簾と自作の表札を掛けている。室内は絨毯を敷き、机や三面鏡など馴染みの物が置かれ、ぬいぐるみや写真などが飾られている等、その人らしい居室になっている。大きな押入れがあり整理整頓がしやすい。また、洗面台が設置されているので食後の歯磨きは居室で行なっている。毎日の掃除時間には、皆で自分のやりたい場所の掃除を行っている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの場所を分かるよう矢印で印してある。 ・手摺りが設置してある。 ・一人一人の身体機能の状態に合わせた危険の防止や自分の力を活かして動ける事を支える為の個別の設備・道具が工夫してある。 		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2374500607		
法人名	株式会社ハルス		
事業所名	グループホーム はるすのお家 尾張旭		
所在地	愛知県尾張旭市庄中町二丁目4番地8		
自己評価作成日	平成22年11月20日	評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>全ての事を職員が行うのではなく、出来る事は一緒に行って頂き個々の力が低下しないようにしている。業務を遂行するのではなく、利用者さんに振り回される事を大切に思っている。一生懸命であること。真面目であること。</p>

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-aichi.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+) + (Enter+)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理念は玄関に掲示され、目を通し意識している。 ・ ミーティング時皆で声を出して読み上げ意識している。 ・ 月1回のミーティングで理念を斉唱している。 ・ 実践に繋げる努力はしているが以前に比べてあまり行えていない。 		
2	(2)	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近くの公園の清掃や花壇の花の植え替え、校区の運動会、近くの小学校の運動会、盆踊りなど見させて頂いております。 ・ 散歩や買い物で出会ったらあいさつしている。 ・ 野菜など届けてくださる方がいる。 ・ 公園の掃除に参加している。 ・ 回覧板を回している。 ・ 近所のお店に買い物に行くことにより顔を覚えて頂き、声をかけて頂いている。 		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人々に助けて頂いてお付き合い、交流をしております。 ・ 認知症サポーター養成講座に開催。 ・ 取り組んでいる。 ・ ケアの拠点としてはまだこれから取り組んで行く。 		
4	(3)	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議はご家族に参加して頂いて2ヶ月に1回開催している。 ・ 利用者が参加することもある。 ・ 定期的に行い話し合いをしている。 		
5	(4)	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所の実情やケアサービスなど話し合い取り組んでいる。 ・ 市主催の救命救急講習に職員が参加している。 ・ ご利用者の体調に合わせて、必要なサービスなどを担当者と話し合っている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームは身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいます。 ・夜間を除き施錠はしていない。 ・身体拘束に関するプリントの配布、勉強会がある。 ・取り組んでいる。 ・ミーティング時に身体拘束についての勉強会があり理解している。 ・玄関施錠は決められている時間だけで、ずっと開いており自由に出入りできるようになっている。 ・玄関は自由に出入りできるように日中は施錠することなく、ご利用者様の行動を制限しないケアを行っている。 		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員による虐待を徹底防止に努めていますし、又見過ごされることがないように注意を払い徹底しています。 ・勉強会がある。 ・虐待のないよう取り組み努めている。 ・ミーティング時に虐待防止についての勉強会があり理解し防止に努めている。 ・ホーム内で学習する機会を設けている。 ・スタッフの言動、行動に注意を払っている。 		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホーム内で学習する機会を設けている。 		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者は契約に関する説明と納得、理解を図っています。 ・管理者が行っている。 ・十分な説明を行い、理解、納得いただいている。 ・契約、解約時を含め話し合いの機会を設けており、必要に応じて相談を受けている。 		
10	(6)	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機会を作って、ご家族様の意見をお聞きして対応しています。 ・意見箱を設置している。意見があった場合はスタッフ全員で共有している。 ・ご意見、ご要望はすぐに記録し、職員全員が周知し、迅速に対応している。 ・要望など言い表しやすい関係作りに努めている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回のミーティングだけでなく、日常的に気かけ聞いていただいている。 ・ミーティング、朝礼、夕礼の際、意見などを言う機会がある。 ・ミーティングの際、意見・提案をする場が設けられている。 ・フロアミーティング、合同ミーティングを定期的に行っている。 ・職員に勤務状況や、職員の多種の声に耳を傾け、出来るだけ相談にのって頂いています。 ・年2回面談を行っている。 		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の生活にあわせて、労働時間が考慮されている。 ・行っている。 ・勤務状況を把握して頂き、管理者が働きやすい条件で相談し、努めて下さっています。 		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・新入社員、育成担当を決め、教育、指導に力を入れている。 ・外部研修の機会を設けて頂いている。 ・研修をうける機会を頂いている。 ・AEDの研修に順次参加している。 ・管理者の方も、職員一人一人のケアの実際を把握し、指導を頂いています。 ・入社後の研修や指導の方針を示したものが統一を図っている。 		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・他の施設スタッフと共に研修を行うなど、交流する機会を設けていただいている。 ・管理者、職員が定期的に他の施設を訪問し、サービスの向上にむけて行っています。 ・お互いの行事に参加したりしている。 ・昨年は市内の事業所で合同の学習会を開いた。 		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・お話しに耳を傾け、努めている。 ・管理者、担当職員が行っている。 ・本人が困っていること、不安なこと、初期段階で申し送りあり、要望に耳を傾けながら努めています。又、上司に報告します。 ・可能な限り話をする時間を作っている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ フロアー長、ホーム長が聞いている。 ・ 御家族が面会にみえた際、いろんな話に耳を傾け、それを活かせる様取り組んでいる。 ・ 管理者、担当職員が行っている。 ・ 上司の方が、御家族が困っていることを相談受け、職員同士連携をとり、業務に取り組んでいます。 ・ 希望されれば面談を行っている。 		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホーム長と話し合っている。 ・ 管理者、担当職員が行っている ・ 最初に決定したサービス提供方法も必要に応じて変えている。 ・ 出来ることは速やかに実行し、職員同士ミーティングで話し合い努めています。 		
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共に家事を行ったり、日常生活の中で共に楽しみを見つけながら、日々過ごしていただいている。 ・ 一緒に食事作りや洗濯など行い、関係を築いている。 ・ 利用者の立場を尊重している。 ・ 一緒に食事をしたり教わったりしている。 ・ 共に過ごし、又利用者様から日々教えて頂き、支えあう気持ちで、大切にしたい。 		
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご家族に協力いただいている。 ・ 定期的にボランティアに来てくださったり、行事の際にご協力いただいている。 ・ 家族が面会に来た時は、ゆっくり過ごせるようにしている。 ・ 御家族のお話を伺いながら、利用者との関係を築いている。 ・ ご家族の協力を得ながら、生活を支えている。(受診・外出・外食・面会など) ・ 家族との関係は大切に、絆を大事にして頂き、見守っています。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご友人の方が会いに来やすい雰囲気を中心掛けている。 ・外出、外食、一緒に出掛けたり、面会に来て下さったりと本人との関係を大切にしている。 ・馴染みだった場所や人の事を会話の中にも取り入れ、関係が途切れないように努めている。 ・支援に努めている。 ・会話に出したり、行ける時は行くなどしている。 ・友人、親戚の方が面会に来て下さった時喜ばれます。 ・これからも本人が付き合いを続けられるよう、有難く受け止め感謝しています。本人に伝えていきます。 		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に努めているが、難しいこともある。 ・利用者同士で歌を歌ったり、会話したり、アルバム作り(週一回)を行ったりしている。 ・職員が利用者の中に入り、円滑な関係を作れるよう、努めている。 ・利用者同士の関係を職員が理解・考慮し、毎日楽しく過ごせるよう努めています。 ・居室の方に孤立した時など、見守り・声かけを行っています。 ・個人差があり、入居者同士での関わりを持たせようとし、楽しそうにされる場合、嫌がる場合があり、嫌がる時、何が嫌だったのかを考えるようにしている。 ・家事や日常生活を共に行えるよう働きかけている。 ・関係の把握に努め、関わり持ちたい人、そうではない人個別に取り組んでいる。 		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者、担当職員が行っている。 ・退所後に、手紙を頂いたりしている。 ・支援に努めている。 ・関係を断ち切らないで、上司の者が、御家族と連絡をとり、相談・支援に努めています。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 努めている。 ・ ミーティングの時に、話し合う機会がある。 ・ 本人の意向を酌んで取り組んでいる。 ・ 利用者一人一人が、毎日楽しく暮らせるように話しかけて業務に取り組み、困難な場合、問題点がある時、フロアリーダー、フロア長、上司に相談しています。 ・ 支援する中で、職員各々が得た情報を共有し、具体的な支援方法を考えている。 ・ 日々の生活、言動を記録に残しモニタリングの時だけでなく、必要なことがでてきたらその都度対応を検討している。 		
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の職員に聞いたり、アセスメントを見て、今までの事を把握するように努めている。 ・ 利用者様個々の生活歴や、生活環境があり、それに沿った満足出来るような日々の暮らしを努めたいと思っています。 ・ 日々散歩・外出出来る様心掛けたい。 ・ 御家族やご利用者様の話記録に残し、職員皆が把握出来るよう努めている。 		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記録や会話で状況把握出来る様、努めている。 ・ 職員は利用者の現状の把握に努めている。 ・ スタッフ間連携を取り、一人一人の心身状態、「できたよ」「わかったよ」と個性を伸ばしてあげたい。 ・ どうしていききたいか聞いてみたり、困っている事があたら話を聞いたりしている。 ・ 日常生活を支援する中で、意識して声かけ行って頂いている。 ・ 24時間記録に残し情報の共有をしている。 		
26	(10)	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリングシートを記入し、月一回話し合い、介護計画を作成している。 ・ 月に数度、スタッフミーティングを行い、意見交換を行い決定した事を反映出来る様努めている。 ・ 日々の生活状況、介護計画、モニタリングは月に行われるミーティングで話し合い、介護計画作成者が行って頂いています。 ・ モニタリングを行い、ミーティングの場で話し合っている。 ・ 定期的にあセスメント、モニタリングは見直し、介護計画についても、ミーティングの場で意見を出し合っている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護記録や、業務日誌に記入し、職員間で情報を共有出来る様にしている。 ・気づいたこと、言葉使いなど、スタッフが介護記録に記入し、日々の様子、ケアを書き、職員同士情報を共有しています。 ・申し送り、ミーティングで気づきなどを話し合っている。報告している。 ・個別に記録に残している。体調の変化や気づきは赤字で記録している。 		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設で最期を迎えたいという希望に応じた。 ・その方のニーズに対応出来る様努めているが、対応出来ない時もある。 ・その時々状況に応じて支援を行っている。 ・柔軟な支援、一人一人支えるために、日々多様な支援の方法を見守り、見つけています。とても難しいと思います。 ・支援出来るよう心掛けている。 		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの訪問がある。 ・近くのスーパー、美容院など出掛け、日々楽しく暮らせるように支援しています。 ・今は一部の方なので、外に散歩でもしようとスタッフ同士声かけしています。 ・ボランティアの方が来てくださり、入居者の方を楽しませてくれたりしている。 ・顔見知りの店員さんから声掛けて頂いたり、近所にお住まいの方など、多くの方より気に掛けて頂き、安全で豊かな暮らしを楽しむよう支援している。 		
30	(11)	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・週に一回往診がある。 ・本人の希望に添える様支援している。 ・定期的に利用者が受診出来る様取り組んでいる。又、緊急時にもすぐに対応出来る様にしている。 ・往診週一回かかりつけ医と事業所の関係を築いて頂いています。 ・決まった病院で受診・往診行っている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 朝・夕礼時、必ず報告、相談している。 ご利用者に異変・異常がある時には、すぐ報告し必要に応じて受診や看護を受けられるように支援している。 変わりがあったら朝礼・夕礼時などに伝えるようにしている。 気づいた事は看護師に伝え相談し、適切な指示を頂いている。 申し送りやノートで伝え支援している。 気付いた事はすぐに報告し、病院受診などの対応につなげている。 体調不良、変化に気付いた時、体の外傷、痛みの訴えがあった時、些細な事もその日スタッフ同士伝達し、上司、職場内の看護職に報告し、指示を頂いています。 		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 往診などあり、病院関係者との関係づくりは行われている。 管理者、担当職員が行っている。 上司の人が、本人、病院関係者、御家族様と話し合いながら支援を行っています。 病院関係者、家族と話し合いを行い、適切な対応に努めている。 		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ご家族等と話し合い、内容を書面にして、スタッフ皆が確認出来るようになっている。 医療機関等と連携を図り、終末期ケアを行っている。 取り組んだ。 ミーティングや職員全体で上司の人と話し合い連絡ノートに必ず支援に取り組んで下さいと内容を適格に書いて申し送っています。 家族や本人に意向、地域医療と連携し取り組んでいる。 		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> 先輩職員、看護師よりレクチャー受ける機会が設けられている。 外部の講習等の情報、受講の機会が設けられている。 ミーティングなどで話し合っている。 全ての職員が実践力を身に付けている訳ではない。 本人の自主性に任されており、実践力が身に付いているか不明。 応急手当や吸引器の使用。 事故発生時に備えての応急手当、手順一冊のファイルが目に見える場所にあります。 早急にスタッフ間の連携をとり、ホーム長に連絡し指示仰いでいます。 		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に避難訓練を行っている。 物品は備えている。 いざという時に慌てない為に避難訓練を定期的に行っています。 台風時などは夜間ホーム長が待機し、安全対策に心掛けています。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉使いや、大きさに気をつけて声かけを行うよう努めている。 ・心掛けているが、出来ていない事が多い。 ・声かけに意識はしているが、馴れ合いになってしまう事がある。 ・言葉がけに気をつけて対応している。 ・利用者の立場になり、言葉使いに注意し、真心持って接していません。 ・勉強会、ミーティングの場や常日頃から「大切に」と伝え日々意識できるように努めている。 		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・人によっては二択や三択で選択肢をしばって聞いたりするなど、ご利用者の思いを表出出来るよう、又表出しやすいよう声かけ、聞き方を工夫している。 ・希望を聞き、なるべくその様にしたいと思っている。 ・本人の思い、希望を表せるように話を聞いたりして働きかけている。 ・働きかけている。 ・二者択一の質問をしたりする。 ・服装や食事のメニューの決定・外出。 ・日々の表情や状況、注意深く見て変動があれば、早急に申し送り利用者様と気持ちを感じるように毎日取り組んでいます。 		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の希望にそって支援したいと思っているが、どこに行く際、付き添いが必要な方で、どうしてもスタッフが付き添えない時、少しお待ち頂く時もあり、必ずしも常に支援しているとは言い難い。 ・職員側の都合で動いている。 ・外出出来る時は、どこへ行きたいか？何を食べたいか？など希望を聞いて支援している。 ・心掛けているが出来ていない事も多い。 ・食事中でも休憩時間を優先している事あり。 ・日々の状況、その人の生活スタイルがありお話ししたり、見守って、出来るだけ笑顔で接するように心掛けています。 ・個人のペースに合わせている。 		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・各々にあわせ、化粧して頂いたり、お気に入りのおしゃれな服装でいられるように支援している。 ・朝、ご自分で選んで頂くようにしている。 ・出来る所はして頂いている。 ・起床時の整髪も心掛けている。 ・一人ひとりの個性もあり、起床された時、外出時、身だしなみに気をつけています。 ・季節時、変動時など衣類に気をつけています。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食器洗い、盛り付けなど声かけするとして下さる。 ・ 食材にあった調理法や、好きな物を聞き、調理したり後片付けをして頂いている。 ・ 準備は出来る方と行っている。 ・ 食材の切り方などに工夫を凝らし、食べやすいよう努めている。 ・ 利用者によってはソフト食などを利用している。 ・ 料理と一緒に作る楽しみや利用者のアドバイスをお聞きして教えて頂く事が沢山あり、食事、後片付け手伝って頂いています。 ・ 現在少人数の方のみ手伝って頂いています。 ・ 職員の都合で、手伝いとして成立する人には声を掛けるがそうでない人には声を掛けていない事がほとんどである。 		
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者一人ひとりの食事量、水分量を把握して支援している。 ・ 水分が十分に摂取できるように、水分量をチェックし、好みの物を提供するよう支援している。 ・ 食べる量チェックし、スタッフ同士声かけし合っている。 ・ 一日摂取(水分・食事)介護記録に記入し、職員に申し送っています。 ・ 一人ひとりの状態に合わせ食事の形態、献立は工夫している。 ・ ご家族が準備しているソフト食に頼っている事もあり、食事の工夫などはせずただ刻んだものを提供したりして、食べやすい献立を考えるなどの努力はされていない。 		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 声をかける人、一部手伝う人、全介助の人と本人の力に応じている。 ・ 毎食後、航空ケアを行っている。 ・ 必要に応じて訪問歯科の医師に診て頂いている。 ・ 歯ブラシを使用する。洗口液を使用するなど、口腔状態に応じてケアを行っている。 ・ 自立の方には声かけて見守るよう心掛けています。 		
43	(16)	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回のトイレ誘導で出た出ないの確認をして行っている。 ・ 利用者の状況を把握して行っている。 ・ 定期的にトイレ誘導し、排泄の声かけを行っている。 ・ 一人ひとりの排泄パターンをチェックし、把握出来るよう努めている。 ・ 出来る限りトイレでの把握を支援している。 ・ 排泄チェック表を確認し、スタッフ同士の連携をとり、トイレ誘導行い、日中は出来るだけオムツ(トレパン)の使用減らし、気持ちよく排泄出来るよう行っています。 ・ 時には失禁している時もあり、反省し短時間で声かけしています。 ・ パットなど使用必要かそうでないかを話し合っている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の予防には取り組んでいない。 ・ 運動の働きかけが少ない。 ・ 飲食物の工夫、便秘の把握はしている。 ・ 食材の工夫や、散歩、体操などの働きかけを行っている。 ・ 水分を摂るようにはして頂いているが、運動はあまり出来ていない。 ・ 運動や水分摂取して頂けるよう働きかけている。 ・ 排泄パターン、量も出来る限り把握出来るよう努めている。 ・ 運動の働きかけ、心がけてはいるが、現状出来ていない。 ・ 毎日水分(一日のトータル)摂取量報告、申し送りあり、水分摂取取り組んでおりますが、中にはなかなか摂って頂けない方もいます。梅シロップやコーヒー牛乳、紅茶提供し、料理も繊維の多い物など工夫しております。 		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の都合で時間帯を決めている方もいる。 ・ 利用者が入浴したい時に入れるよう支援している。 ・ 入浴を楽しめるよう努めてはいるが、希望の時間帯に入浴できない時もある。 ・ 職員の都合で行っている。 ・ 昨日入浴されてない方をチェックして、声かけて入浴して頂いておりますし、又、臀部、皮膚の弱い方は毎日入浴して頂くよう心掛けています。 ・ 入浴の時間はある程度決まっているが、その中でも希望があれば沿うようにしている。 ・ 血圧などで入浴が出来ない日が数日続いてしまうご利用者もみえ、その場合は清拭や測良くの代替えケアの提供を心掛けているが出来ていない事も多い。 		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好きな時に横になる方も、体調等みて、寝て頂く方もいる。 ・ 職員がその日の状況を把握して利用者無理がないよう支援している。 ・ 体調の悪そうな時、血圧の高い時など、ソファーやベッドで休息して頂けるようにしている。 ・ 日中でも体調によって、休息して頂くよう声かけしている。 ・ 夜間、気持ち良く眠れるよう布団や気温に配慮している。 ・ 安心して眠れるよう支援している。 ・ 利用者の状況体調を申し送りされて見守り、観察しております。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 薬の目的、副作用の全ては理解できていない。 服薬支援はしっかりおこなっている。 薬ファイルや毎日の記録を確認しながら取り組んでいる。 薬ファイルがあるので確認する事ができる。 「私のお薬手帳」や処方箋の説明書をすぐ確認出来る所に置き、スタッフ皆で把握するよう努めている。 全入居者の薬の事、把握していないが努力します。 服薬については、変更事は申し送りあり、各自内容、服薬チェック(ファイル)を確認し、誤薬のないよう努めています。 変化があれば記録に残し主治医に伝えていきます。 		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 支援しているが個人差がある。 食器洗いや、洗濯物干し、外食、喫茶店、誕生日会など計画し、取り組んでいる。 歌を歌ったり、裁縫をしたりして過ごす方もいる。 その時は一緒に歌ったりして支援している。 ご利用者によっては、ケアプランをしてあげ、特に意識して行っている。 あまり出来ていない。 何が楽しいのかを聞いたりする言葉掛けも出来ていない。 以前はカラオケ会など行っていました、月に一度ボランティアの方で、紙芝居、歌、詩吟、など楽しい場を作って頂いております。 		
49	(18)	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外出支援は常に心掛けているが、かたよりのある。 必ずしも「一人ひとり、その日の希望に沿って」ではない。 普段行けない場所の外出は計画をたてて支援している。 遠い場所へ出掛ける場合などは、車の利用を行っている。 本人希望の場所や時間に外出出来るように心掛けているが、一度に複数の方を支援する事は出来ないのも、希望に添えない事もある。 日常的な買い物だけでなく、喫茶や少し遠くのショッピングモールへ出掛けたりしている。 定期的にご利用者、ご家族と皆で外出出来るよう、ご協力頂き、遠方にも出掛けている。 希望には沿っていないが、行ける日は支援出来るよう努めている。 事前に計画表を立て、家族の方に理解・協力して頂いて、家族の方と一緒に外出しています。 外出表に提示して、近くのスーパー、散歩、喫茶店、外食、利用者様と交代に出掛けていきます。 全ての希望は叶えられないが出来るだけ外出できるよう支援している。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ お金の管理をきちんとし、必要に応じて使えるよう取り組んでいる。 ・ 買い物へ行った時、食べたい物などがあれば自由に(取り決めはあるが)買ったり食べたり出来るよう支援している。 ・ 自由に使って頂くことの出来るお金は、ご家族からお預かりしているが、金銭管理(ご自分で)することが難しい方が多く、お金をご利用者本人に所持して頂いていない。 ・ 本人の希望に応じている。 ・ 一部の方がお金を持参しており、買い物時は自分で使って頂いて見守っています。 		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年賀状など書いて頂いている。 ・ 支援している。 ・ 本人自ら電話する事は少ないが、希望があれば支援する時もある。 ・ ご家族の事情へも配慮しながら出来る限り支援している。 ・ 年賀状出せる方は書いて頂いて、日々元気の様子など家族に伝えていきます。 		
52	(19)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湿度、温度、明るさなど配慮している。 ・ 机、椅子の高さが固定で、利用者の体型に合わない。 ・ 音、空調に配慮している。 ・ テーブルに花を飾るなどしている。 ・ 玄関で季節の野菜を栽培し、収穫して食べている。その事により会話も弾み、季節感を感じられている。 ・ ソファや畳を置くなどし、くつろげるスペース作りをしている。 ・ 季節に応じて花を飾ったり、置物を工夫するなどしている。 ・ 食事(リビング)テーブルの高さが高く、上が見えていない入居者がいる。 ・ 広いリビングに大きいテレビを設置され、利用者がくつろげる畳のユニットやソファが置かれ、日当たり良く明るい雰囲気工夫され、湿度計温度計を見て、空気入れ替えています。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ソファや畳をおいている。 ・自発的にそこを居場所としている方はみえない。 ・ソファや畳の配置などを工夫している。 ・リビングにはソファなども置かれ、そこでテレビを見たり、会話してりできる。 ・皆で食事出来るようなダイニングテーブル、一人になりたい時は少し離れた所に畳を置き、思い思いに過ごせるように工夫している。 ・出来ている人と、出来ていない人がいる。 ・テーブル席も気のあった利用者様同士座り、職員の意見を聞き配慮しています。 		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・御家族が棚、カーペット、ベッドなど用意され、それぞれの部屋になっている。 ・居室に利用者の思い出の品、家具、写真等を置き、工夫している。 ・居室は本人好みにしてあり、ベッドや畳、テーブルなど、本人が使用しやすい物が置かれている。 ・ご利用者の使い慣れた家具など私物を持って来て頂き、居心地よく過ごせるよう工夫している。 ・昔からある物を居室に置いてある。 ・利用者様の一人ひとり好みの物や、家族の方と相談しながら毎日過ごしやすいように冷・暖房付きで工夫されております。 		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの矢印が貼ってある。 ・配置などに工夫している。 ・その方が出来る事は、見守りながら自分で行って頂いている。 ・居室に表札をつける、トイレの場所がわかるよう張り紙をするなど、目的の場所へ自分で行けるよう工夫している。 ・ひやりはっとを出し、事故を防ぐよう工夫している。 ・居室も広く明るく動きやすく、又廊下はバリアフリーで手すりがあり、トイレ内も和らげてトイレも三箇所設置されて中も工夫されています。 ・あまりに危険なものは対応するが、一人ひとりの力に任せている。 		

(別紙4(2))

事業所名: グループホームはるすのお家 尾張旭

作成日: 平成23年3月2日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練の実施にあたり、地域の協力や消防署との連携がとれていない状況である。	地域や消防署の協力を得ながら避難訓練を行い、有事に備えていく。	地域へは回覧板等で避難訓練の開催を告知したり、消防署には避難訓練の計画を提出する際に協力が得られるように働きかけていく。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。